

喜多方高校 進路だより

(第9号)

2021年11月2日(火)
喜多方高校進路指導部



令和3年度 第2回進路希望調査結果(10月実施)

1年

(単位:人)

	大 学				短期 大学	専門 学校	就 職			その他	欠席	合計
	国立	公立	私立	小計			一般	公務員	小計			
男	32	12	7	51	2	16	1	4	5	0	7	81
女	19	10	2	31	24	23	9	3	12	1	0	92
合計	51	22	9	82	26	39	10	7	17	0	7	173

2年

(単位:人)

	大 学				短期 大学	専門 学校	就 職			その他	欠席	合計
	国立	公立	私立	小計			一般	公務員	小計			
男	22	13	15	50	3	6	2	2	4	1	12	76
女	11	6	16	33	19	38	11	8	19	0	10	119
合計	33	19	31	83	22	44	13	10	23	0	22	195

3年

(単位:人)

	大 学				短期 大学	専門 学校	就 職			その他	欠席	合計
	国立	公立	私立	小計			一般	公務員	小計			
男	6	7	22	35	2	12	7	5	12	0	4	65
女	3	1	25	29	23	45	25	1	26	1	5	129
合計	9	8	47	64	25	57	32	6	38	1	9	194

1～2年生への進路情報

就職関係

就職試験「適性検査」とは?

就職試験で実施される適性検査には、SPI、玉手箱、YG性格検査、クレペリン検査など様々あります。多くの企業が、より効率的に自社で活躍できる学生を見極めるための手段の一つとして「適性検査」を使っているのが実態です。それらの適性検査の中から、高卒就職者対象試験にも広く取り入れられている「SPI」について紹介します。

～SPIには、大きく分けて「能力検査」と「性格検査」がある～

- ①能力検査では、職種の違いを越えて共通して要求される「知的能力」を測定する。具体的には、課題に対して合理的に思考し、目的を定めそれに沿って行動し、効果的・能率的に事態を処理していくような、実際の仕事場面で求められるような能力の測定検査となる。また、能力検査の問題は、「言語分野」と「非言語分野」の2種類がある。言語分野では、「言葉の意味や話の要旨を的確に捉えて理解できるかどうか」、非言語分野では、「数的な処理ができるか」「論理的思考力があるかどうか」を測定する。
- ②性格検査では、日ごろの行動や考え方に関する質問への回答から、応募者の性格特徴を測定する。約300問の設問への回答を統計的に処理することにより、人との接し方や仕事への取り組み方、目標の持ち方などと関係の深いさまざまな性格特徴の強弱がわかる。性格検査を受けるときは、「正解は何だろう?」と構えず、日ごろの自分の行動や考え方に最も近い選択肢を選ぶようにした方がよい。

＜県内新規高卒者の内定状況(福島県発表)＞ ～ 福島民報新聞社10月22日掲載記事より

令和3年9月末現在の就職内定率は64.7%で、9月末としては過去最高。就職希望者が減る一方、求人数が増加していることが要因だと県は分析している。内定者のうち、県内企業内定者が全体の約84%を占める。地域別では県南が72%で最も高く、会津地区は62%と低かった。

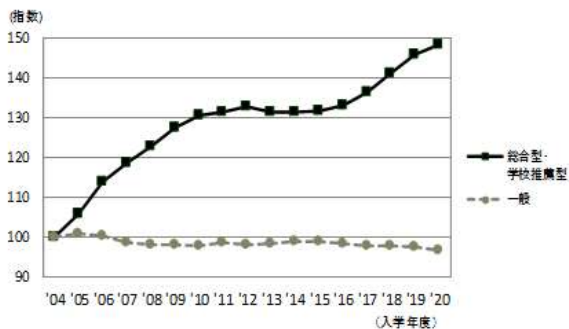
大学・短大進学関係

(1) 学校推薦型選抜および総合型選抜について

〈参考資料〉 ベネッセコーポレーション

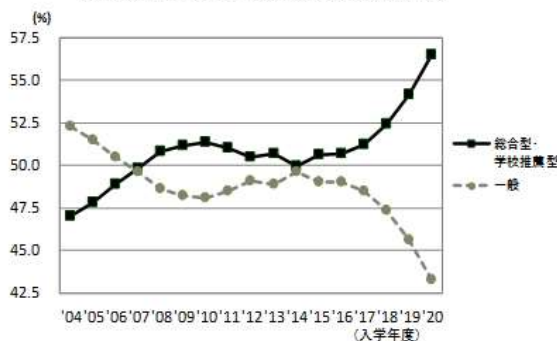
学校推薦型選抜・総合型選抜等による入学者の割合を全体の3割程度にするという国立大学協会の方針のもと、国立大学では一般選抜の募集人員を総合型選抜等に移す動きが進んでいる。公立大学でも同様の傾向がある。一方、私立大学においては学校推薦型選抜・総合型選抜による入学者比率は2008年度から2016年度までほぼ増減がなかったが、2017年度入試から再び増加している。

国公立大学・入試方式別入学者数推移



* 文科省『国公立大学入学者選抜実施状況』より
* 2004年度を100とした入学者数の指数

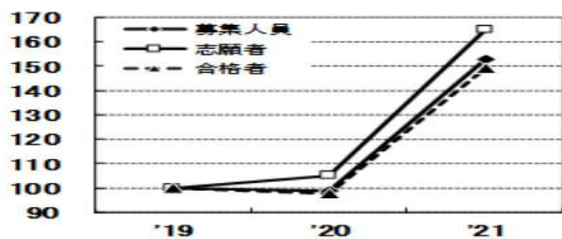
私立大学・入試方式別入学者数比率の推移



* 文科省『国公立大学入学者選抜実施状況』より
* 入学者全体に占める割合を示す

下のグラフが示すように、私立大学の総合型選抜では、志願者数が大幅に増加し、受験生にとって厳しい状況になっている。安易な気持ちで総合型選抜を受験しても合格できない時代に差し掛かっている。

私立大・総合型



* ベネッセ調べ
* 2019年度入試の人数を100とした時の指数

〈私立大学総合型選抜の入試〉

原則的に学科試験は行われず、書類審査と面接に時間を掛け、じっくり判定する。出願時に提出する「志望理由書」、「活動実績報告書」、「課題論文」、「プレゼンテーション資料作成」などの作成のために、かなりの時間と労力を費やす。

※その大学で学びたいという『強い学習意欲』が必須!

(2) 大学の現状・動向

- ① 学部や学科の境界が緩くなっている。文理融合型の学部・学科も増加傾向にある。
(例) 入試ではまとめて募集し、入学後に専門領域・学科を決めさせる。
(例) 基礎となる共通教養を重視し、他学部の授業も学べるようにする。
- ② 教育改革に伴い、入試においては「知識・技能」のみならず、「思考・判断・表現力」をより重視するようになった。
- ③ 現代社会を反映して、学部・学科名称の多様化が進んでいる。
(例) 国際子ども教育・多文化社会・データサイエンス・フロンティアサイエンス
英語キャリア・観光メディア文化・共創・食マネジメント・都市デザインなど
- ④ 文・理系を問わず、多くの大学で、英語力(いわゆる英語の4技能)を重視する傾向が強まった。英語関係の資格取得者対象の入試制度も導入されている。

【11月の進路行事】

11月 5日(金)～6日(土)	ベネッセ・駿台共催共通テスト模試(3年生進学希望者)
11月 9日(火)～11日(木)	インターンシップ(2年生希望者)
11月12日(金)～13日(土)	ベネッセ進研模試(旧喜高2年生全員)
11月13日(土)	ベネッセ進研模試(1年生全員)
	実力診断テスト(旧喜東高2年生進学希望者)
	就職模試 (旧喜東高2年生就職希望者)
11月20日(土)	考查前学習会 (1年生、旧喜高2年生)

◆お知らせ◆

10月8日(金)に実施した『外部人材活用講座(1～2年生対象 16講座開講)』の記録写真について、後日学校ホームページに掲載します。また、生徒の皆さんが記した事後感想についても同様に、「進路だより(号外)」で紹介する予定です。